

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
生活困窮者対策について	<p>【生活保護】 病気等のやむを得ない理由で収入を得ることができない世帯のうち、親族による援助や活用できる資産もなく、他の施策を活用しても最低限度の生活を維持することができない世帯に対して、生活保護費を支給する。</p> <p>【生活困窮者自立支援制度】 自立相談支援事業…直営 生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、就労支援等の自立に向けたプランの作成。 住居確保給付金支給事業…直営 離職等により住居を失い、又は住居を失うおそれのある者に対し、安定的な就職活動ができるよう、有期で家賃相当額を支給。 学習支援事業…委託 実施場所:「ふらっと城山」 貧困の連鎖防止を目的に、主に生活保護受給世帯の中学生の将来的な自立促進を図るため、学習習慣や社会性等を身に付けるための支援、進学等に係る相談等の実施。</p>	通年	<p>【生活保護】・生活保護制度の適正実施</p> <p>【生活困窮者自立支援制度】 ・自立相談支援事業、住居確保給付金支給事業、学習支援事業の実施</p>	生活支援課
ケアタウン推進事業	<p>ケアタウン構想検討委員会からの提言を踏まえ、高齢者、障がい者、子育て家庭など支援を必要とする方々を市民、事業者、行政等が一体となって支える仕組みづくりに向けて、ケアタウン構想を推進するための各種事業を実施する。</p>	通年	<p>ケアタウン推進事業実施地区(20地区)の取組支援 生活応援隊事業実施地区(4地区)の取組支援 担い手育成事業実施地区(4地区)の取組支援 ケアタウンおだわらシンポジウム事業の実施(予定)</p>	高齢介護課
アクティブシニア応援ポイント事業	<p>高齢者が行うボランティア活動実績をポイントとして評価し、当該ポイントに応じた商品(地場産品等)と交換することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりを奨励・支援する。</p>	<p>4月～ 5月～ 11月 通年</p>	<p>・社会福祉協議会への事業委託 ・参加者登録開始(28年度) ・ポイント交換開始(27年度分)…交換商品の拡大(橘商店会商品券、社会福祉基金への寄付など)</p> <p>・新規参加者説明会の実施(5月23日) ・登録者ステップアップ研修会の開催(6月20日)</p> <p>・新規参加者説明会の実施(11月11日)</p> <p>・事業のPR (チラシ、広報おだわら、ホームページ、ケーブルテレビなど)</p>	高齢介護課
地域包括ケア推進事業	<p>高齢者が、重度な要介護状態になっても可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築し、日常生活圏内で、これらのサービスが切れ目なく一体的に提供されるよう、地域の関係者及び関係機関とのネットワークづくりを推進する。</p>	<p>4月 5月 6月 7月・10月・1月 9月 通年</p>	<p>在宅医療・介護連携推進事業プロジェクトチーム第1回打ち合わせ(4/26) 認知症シンポジウムの開催(小田原市民会館・4/30) 認知症地域支援推進員の設置</p> <p>在宅医療・介護連携推進事業プロジェクトチーム第2回打ち合わせ(5/20) 認知症初期集中支援事業チーム会議開始(2か月に1回)</p> <p>在宅医療・介護連携推進事業プロジェクトチーム第3回打ち合わせ(6/23)</p> <p>多職種共同研修の開催(年3回 7/4、10/19、1/25)</p> <p>認知症をにんちしょう会イベント(9/25)</p> <p>地域包括支援センターへの支援</p>	高齢介護課

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
地域包括支援センター事業	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、心身の健康の維持、福祉の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行う中核機関として、地域包括支援センターを設置、運営する。	6月2日 8月23日	第1回地域包括支援センター運営協議会 第2回介護保険関係施設整備調整会議(募集要項の決定)	高齢介護課
		10月13日 11月17日	第3回介護保険関係施設整備調整会議(4か所の候補者選定) 第2回地域包括支援センター運営協議会(選定結果報告)	
		2月	契約を締結し、4月開設の準備	
		通年	個別ケア会議(16回) 圏域ケア会議(1回) 大会議 2月予定 (8月20日現在)	
障がい者の働く場づくり、就労機会の拡大	障がい者施設の物販や役務の提供についての情報を市民、民間事業者などに周知し、障がい者の働く場の基盤強化を支援し、就労機会の拡大を図る。	4月	・市内ネットワークにより職員への情報提供(店内販売)を実施 「障がい福祉施設名産品カタログ&マップ」の活用 ・平成27年度調達実績及び平成28年度調達予定について市内照会・取りまとめ ・アクティブシニア応援ポイントの交換商品について、障害者就労施設等の商品を掲載(㈱リンクライン製石鹸)	障がい福祉課
		5月	・平成27年度調達実績の公表及び平成28年度調達方針の策定と公表 (各課における調達可能物品・役務の掘り起こし)	
		10月	・西湘地区障害者就職面接会の開催(小田原アリーナ)	
		適宜	・機会を捉え、市内障害者就労支援施設との情報交換 ・NEXCO中日本所有地の草刈作業等に係る障害者事業所等との調整 ・ヤマト運輸との包括連携協定による障害者雇用等の研究 ・神奈川労働局との雇用対策協定に基づく小田原公共職業安定所との連携 ・下中たまねぎの収穫等における農家と特例子会社との連携支援 ・農福連携に向けた関係課等との調整・研究	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
<p>健康増進計画の推進 / 食育活動の更なる推進</p>	<p>健康増進計画推進のため、三大疾患の克服に向けた事業を展開するとともに、いつまでも健康で生活するための歯科保健事業の充実を図る。食育活動の更なる推進のため、食育推進計画に沿った事業の充実を図るとともに、第2期小田原市食育推進計画を策定する。</p>	<p>5月～毎月 5月～6月  6月～5月12日(木) 6月5日(日) 7月28日(木) 8月～8月25日(木) 9月15日～10月25日 10月27日(木) 11月23日(水・祝) 2月2日(木) 2月19日(日) 2月 3月</p>	<p>広報おだわら1日号裏表紙 健康だより連載 市民アンケート実施  健康メニュー事業開始(小田原食品衛生協会へ委託) 食育推進団体連絡会の開催 「おくちのけんこうフェスティバル」の開催(マロニエ) 小学生を対象に高血圧に関連する塩の働きについて学ぶ教室「Sio博士」を開催 高血圧重症化予防事業(特定健診受診者に対し個別に電話等で保健指導をする) 第2期小田原市食育推進計画策定検討委員会(第1回)の開催 健康メニュー(健康具だくさん味噌汁)コンテスト募集開始 第2期小田原市食育推進計画策定検討委員会(第2回)の開催 健康メニュー発表会 第2期小田原市食育推進計画策定検討委員会(第3回)の開催 脳血管疾患予防講演会・健康メニュー試食(予定) 健康増進計画懇談会 第2期小田原市食育推進計画策定</p>	<p>健康づくり課</p>
<p>市立病院の再整備検討</p>	<p>平成26年2月の市立病院運営審議会からの答申を受け、市立病院の再整備に向けた検討を進める。</p>	<p>4月～3月</p>	<p>市立病院の建替えに向けた庁内検討等(建設地・建設費用・財源構成)総合計画後期基本計画への位置づけに向けた調整作業</p>	<p>経営管理課</p>
		<p>6月～2月</p>	<p>再整備までの建物維持修繕計画の作成</p>	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
医療スタッフの充実と各診療科の状況	県西地域の基幹病院として、急性期医療と高度医療を提供していくための機能を維持するため、市立病院の各診療科における医師をはじめ、看護師、医療技術職の安定的な確保を図る。	5月	奨学生採用選考試験(5月8日)	経営管理課
		6月	看護師等採用試験 (6月26日)	
		7月	消化器外科を新たに標榜(7月1日) 看護師等採用試験 及び薬剤師採用試験(7月24日、8月7日)	
		8月	看護師等採用試験 (8月7日) 看護師インターンシップの実施(8月2・3・4日) 研修医採用試験(8月8日及び8月22日)	
		3月	看護師インターンシップの実施	
		10月	医療技術職員採用試験【臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士】(10月1日、10月17日～19日)	
		随時	大学医局への訪問 医師派遣要請・看護学校及び高等学校訪問 医学生、看護学生に対する病院見学の実施 看護学校(大学を含む。)の就職説明会に参加	

平成28年度主要事業の進捗と予定

事業名	事業概要	事業実績及び予定		担当課
<p>人事交流と人材の育成 (地域医療拠点としての市立病院の充実)</p>	<p>昭和大学や他病院との人事交流によって、医師のみならず、医療スタッフや事務スタッフの人材育成と能力の向上を図る。また、良質な医療を提供するため、研修等により、医療職員の能力を高める。</p>	4月	昭和大学横浜市北部病院に主査を継続派遣(2年目)した。また、当院の新たな受入職員は、医事課地域医療連携室に主査として配置した。	経営管理課
		5月～	医療技術職・看護職への人事評価制度の試行に当たり、職員課と連携して評価者研修を実施する。以降、医療技術職・看護職への人事評価制度を試行する。	
		8月～9月	昭和大学富士吉田キャンパスの学生(1年次)の体験実習の受け入れ(9月)	
		10・11月	昭和大学との人事交流に関する協議	
		12月～1月	平成29年度以降の交流職員(昭和大学からの派遣職員)について決定	
		年2回	医療安全・感染対策に係る研修会の実施	
		随時	看護職員キャリア開発プログラムに基づく看護職員の育成 診療報酬等の各種医療事務、病院経営事務に係る研修会への参加	
<p>地域医療連携推進 (地域医療との更なる連携強化)</p>	<p>県西医療圏(2市8町)の基幹病院として、高度な検査や手術あるいは救急医療が必要な患者を受け入れ、急性期医療を脱した患者を「回復期」、「慢性期」を担う医療機関等に引き継ぐ。 地域の医療従事者向け研修会を開催する。 上記を通じて、医療機関間の機能分化と連携強化を図り、地域内で医療が完結できる環境の充実に努める。</p>	4月	地域医療連携室の体制強化 (事務部門及び看護部門に職員を各1名増員)	医事課
		随時	・紹介(他院 当院)患者、逆紹介(当院 他院)患者の引継ぎによる地域医療機関の機能分化と連携を強化。 ・地域医療連携室スタッフと地域医療機関・往診医・介護福祉施設・訪問看護ステーション・地域包括支援センター等職員との連携による退院支援の推進。	
		年4回	小田原地域看護連絡会開催 (対象:医療・介護に従事する看護職等) 5/25 8/24開催済 11/30 2/24開催予定	
		年2回	小田原市立病院緩和ケア研修会開催 (対象:がん診療に携わる医師、看護師、薬剤師等医療従事者) 7/17～7/18開催済 1/28・2/4開催予定	
		10/1	緩和ケア市民公開講座開催 テーマ:がんを知ろう!(早期発見から治療まで)	
		随時	患者や地域医療機関に向けた情報誌等の発行 ・診療ガイド発行(年1回) H28.7発行済 ・地域医療連携室だより「きずな」(年3回) H28.7発行済(今年度は、更に2回発行予定) ・病院情報誌「エール」 H28.6発行済 病院長ほか地域医療連携室等病院職員による医療機関訪問 緩和ケア研究会など地域関係機関への講師派遣等	